

令和4年度を振り返って

サッカー専門委員会

はじめに、中体連の先生方並びに各学校の顧問の先生方、各専門委員の先生方、会場を提供していただいた各施設など、関係諸団体のご協力を賜り、また大会運営にご尽力いただいた皆様方に厚く御礼を申し上げ、年間報告をさせていただきます。

第75回京都府大会は、7月28・29・30日に、たけびしスタジアム京都、東寺ハウジングフィールド西京極（西京極補助競技場）、下鳥羽公園球技場、SBSロジコム吉祥院公園球技場を会場に、各地区の予選を勝ち抜いてきた京都精華学園中学校、洛星中学校、洛南附属中学校、附属桃山中学校（以上、京都市代表）、木津南中学校、寺戸中学校（以上、山城代表）、園部中学校（口丹波代表）、日新中学校（中丹代表）、網野中学校（丹後代表）の9チームが参加して、熱戦が繰り広げられました。どの対戦も各地区の代表チーム同士の戦いで、白熱したゲームが展開されました。

1日目に行われた1回戦は、附属桃山中学校が日新中学校を2-2（PK5-4）で破り2回戦に進出しました。

2日目に行われた2回戦では、木津南中学校が附属桃山中学校を4-1で破り、洛星中学校が網野中学校を2-1で破り、京都精華学園中学校が園部中学校を4-1で破り、寺戸中学校は洛南附属中学校の出場辞退により不戦勝で準決勝へと駒を進めました。この結果、準決勝は木津南中学校-洛星中学校、京都精華学園中学校-寺戸中学校の組み合わせとなりました。

大会3日目、準決勝は、木津南中学校と洛星中学校の対戦は木津南中学校が3-1で勝利しました。また、もう一方の試合は京都精華学園中学校と寺戸中学校の対戦。京都精華学園中学校が3-0で勝利し決勝へと進みました。

決勝戦は山城1位の木津南中学校と京都市1位の京都精華学園中学校の戦いとなりました。前半に得点した1点リードを守り切り、京都精華学園中学校が1-0で勝利を収めました。この結果、奈良県で開催される近畿大会には京都精華学園中学校と木津南中学校が出場することになりました。

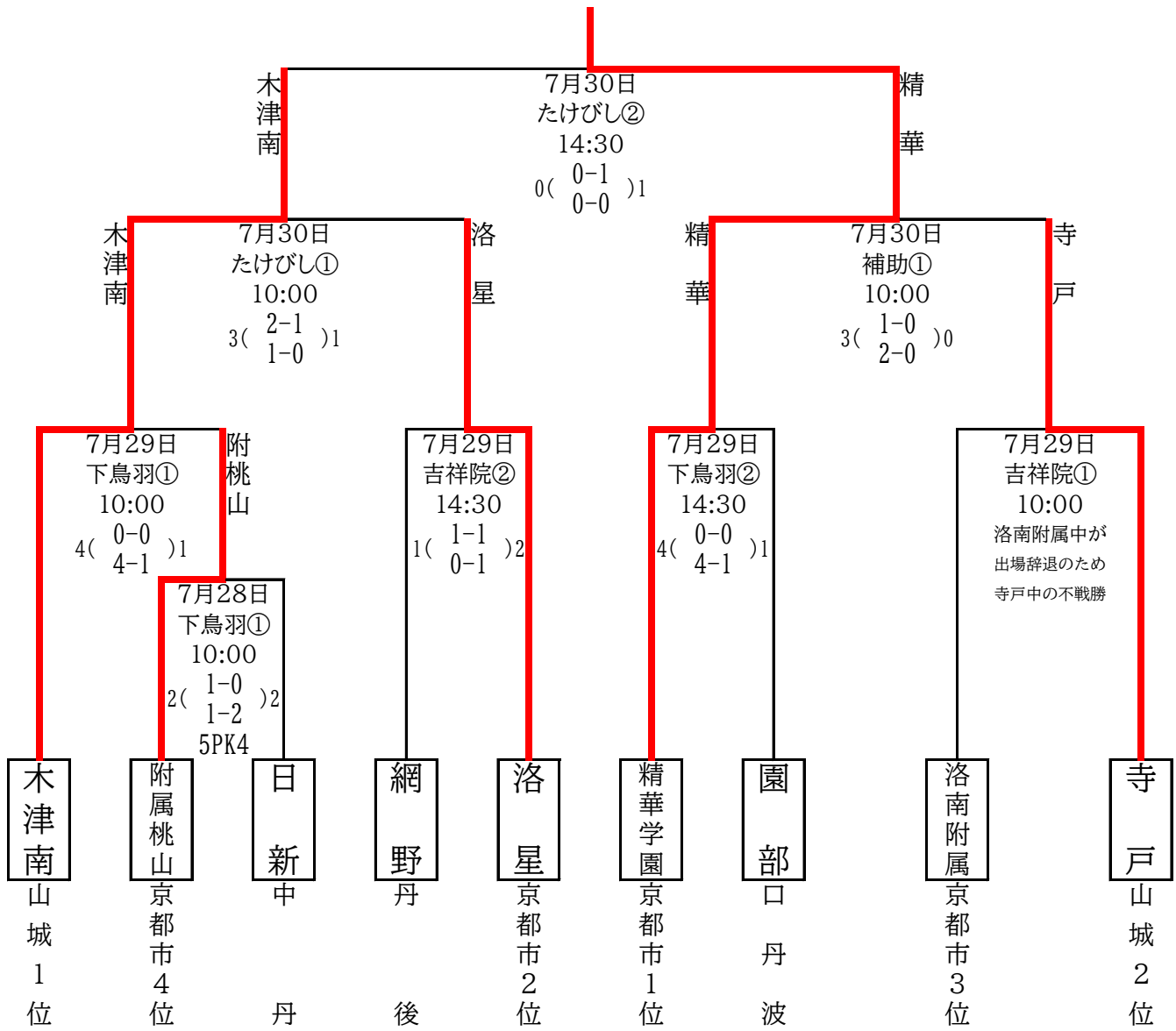
近畿大会は8月6日から8日に奈良県で行われました。木津南中学校は滋賀県第2代表の八幡中学校と対戦し3-0で勝利しました。京都精華学園中学校は和歌山第2代表の和歌山大附属中学校と対戦し2-1で勝利しました。2回戦では木津南中学校は兵庫県第1代表の上甲子園中学校と対戦し0-2で敗れました。この結果5位トーナメントに進出した木津南中学校は、5位トーナメント1回戦で奈良県第1代表の富雄南中学校と対戦し、5-1で勝利。続く5位決定戦は大阪府第1代表の東海大仰星中学校と対戦し、延長戦まで0-0と白熱した試合の末PK戦に突入。惜しくも3-4でPK戦に敗れ全国大会出場を逃しました。

一方、京都精華学園中学校は2回戦で滋賀県第1代表の能登川中学校と対戦し4-0で勝利しました。続く準決勝は兵庫県第2代表の三田学園中学校と対戦し、4-1で勝利し決勝へ進出しました。決勝戦は大阪府第2代表の近大附属中学校と対戦しましたが0-2で敗れました。この結果、京都精華学園中学校は全国大会出場が決まりました。

全国大会は8月18日から22日に山形県で行われました。関東代表山梨県の押原中学校と対戦した京都精華学園中学校は2-1で勝利。2回戦では北海道代表の札幌大谷中学校と対戦し、2-1で勝利。準々決勝では九州代表鹿児島県の神村学園中学校と対戦しました。試合は前後半終えて0-0の接戦でしたが、延長戦後半に失点し、0-2で敗れてしまいました。この結果、京都精華学園中学校は全国大会ベスト8という成績を収めました。

来年度も、京都勢の全国大会出場、そして躍進を期待して、今年度の報告とさせていただきます。

令和4年度 京都府中学校総合体育大会 結果報告用紙



優勝：京都精華学園中学校（初優勝）
準優勝：木津川市立木津南中学校
第3位：洛星中学校、向日市立寺戸中学校